

猫カフェ業界の現況と猫カフェ協会による取組について

猫カフェ協会における取組等について、協会を通じて調査を行った結果の概要は以下のとおり。

1. 猫カフェの状況

日本の猫カフェの店舗数は急激に増加しており、2005年に3店舗だったものが2015年末の時点では約300店舗が全国に展開している。

また営業形態も、従来の猫カフェから、保護猫を扱い、里親の募集をするもの（約80店舗）、ペットショップやブリーダーが経営して子猫の販売を行うもの（約20店舗）などと、多様化している。

2. 猫カフェ協会の取組

(1) 猫カフェ協会について

- ・団体名 猫カフェ協会
- ・加盟数 約300店舗中20店舗（関東地域 平成28年3月現在）

(2) 猫カフェ協会の取組について

- ① 猫や利用者が快適に過ごせるように自主規制を設けて、加盟店はこれを遵守する。
（主な自主規制）
 - ・年1回のワクチン接種及び健康診断
 - ・かかりつけの動物病院を協会へ登録
 - ・全ての猫を協会へ登録
 - ・客室へのスタッフの常駐 等
- ② 猫カフェ業界の把握と利用者からの情報窓口
 - ・猫カフェ業界の実態調査として、アンケート調査を実施
（アンケート調査の結果）
 - 店舗面積 : 最小 12m²、最大 264m²
 - フロア面積 : 最小 5m²、最大 230m²
 - 飼育頭数 : 最小 4頭、最大 68頭
- ③ 半年に1度、協会加盟店での情報交換の場を設け、猫の生態に対する知識の向上に努めている。
- ④ 廃業した猫カフェの猫たちの行き先が無くならないように、相互扶助活動をする。
これまでに、2店の廃業する猫カフェスタッフからの相談に対し、助言を行い、結果全ての猫の貰い手が見つかった。